

【口頭発表】7月25日(土) 9:00~10:20

	9:00	9:15	9:30	9:45
A会場 小学校実践	25-A-01 「明日香の食と農を探る」ESD実践 ○本庄真(奈良県明日香小学校)	25-A-02 ビオトープを活用した小中連携の活動 ○圓谷秀雄(東京女子体育大学・短期大学)	25-A-03 公共交通機関への利用転換をめざした交通環境学習の取り組み ○竹本裕之(広島市観音台公民館)	25-A-04 博学連携ミヤマアカネリサーチプロジェクトにおける児童の学びと探究の過程 ○藤井優恵(兵庫教育大学大学院)・八木剛(兵庫県立人と自然の博物館)・増澤康男(兵庫教育大学大学院)
B会場 幼児・保育	25-B-01 保育園児の生き物とのかかわりについての省察 ○石坂孝喜(東京農工大学大学院)	25-B-02 幼児とともにできる幼稚園・保育所・家庭での環境教育 ○田尻由美子(精華女子短期大学)	25-B-03 園庭設計における幼児の環境との関わりについての一考察 ○仙田考(環境デザイン研究所)	25-B-04 学生とオッチャンと森のようちえん～森林文化アカデミー内「森のだんごむし」から見えた!森のようちえんの可能性～ ○萩原・ナバ・裕作(岐阜県立森林文化アカデミー)
C会場 大学生・指導者	25-C-01 環境シティズンシップとその育成ーコーヒー・フェアトレードを事例としてー ○水山光春(京都教育大学)	25-C-02 大学生の「持続可能な未来」に対する意識の諸相 高橋佑輔(岩手大学農学部)・○比屋根哲(岩手大学大学院連合農学研究科)	25-C-03 大学生の環境問題に対する関心について ○井山慶信(広島国際大学医療福祉学部)	25-C-04 キャンパス内の環境を活用した森林実験実習の事例 ○上原巖(東京農業大学森林総合科学科)
D会場 歴史・評価	25-D-01 実践初心者のためのデータベースの開発と評価 ○山内崇裕・塩田真吾・金子幸平・小野田弘士・永田勝也(早稲田大学)・和田翔太(NPO 早稲田環境教育推進機構)	25-D-02 旧制中等学校教科書にみられる生物の保護の変遷 ○加藤美由紀(日本女子大学大学院)	25-D-03 携帯電話を題材とした環境教育プログラムの評価～プラスチックの教材に関するアンケート結果の分析～ ○成田明沙美(横国大院環境情報)・中原康敬(横国大教育人間)・井上弘毅(横国大教育人間)・松本真哉・中村栄子(横国大院環境情報・横国大教育人間)	25-D-04 こども国連環境会議推進協会における自由連想法を用いた環境教育プログラムの評価 ○佐藤万智(こども国連環境会議推進協会)・小泉真吾・金戸哲(東京都市大学大学院)田中絢子・清水希理・井澤友郭(こども国連環境会議推進協会)
E会場 生涯・青少年教育	25-E-01 宮城教育大学バタフライガーデンのチョウ類の多様性とそれを活かした体験的環境学習 ○溝田浩二・遠藤洋次郎・松本一(宮城教育大学・環境教育実践研究センター)	25-E-02 環境保全と環境教育の実践 ○原賀いずみ(豊の国海幸山幸ネット・北九州インタープリテーション研究会)	25-E-03 大津こども環境人を育む”自然家族”プログラムの実践 ○中野友博(びわこ成蹊スポーツ大学)	25-E-04 行政が支援する環境学習に必要な要素と課題ー草津市「エコキッズ」の活動からー ○宮城成和・相井義博・中野新識・藤田雅也(草津市役所)・川嶋宗継(滋賀大学)
F会場 成人・生涯教育	25-F-01 持続可能なコミュニティ環境形成の試みに関する一考察ーA市B地区を事例にー ○陣内雄次(宇都宮大学教育学部)	25-F-02 ナチュラリストの集団形成に関する研究 ○高橋正弘(大正大学)	25-F-03 社会システムとしての食糧問題と食環境教育の理念 ○小野瀬剛志(仙台医療福祉専門学校)	25-F-04 登山の大衆化と環境教育(3) ○笹瀬雅史(山形大学)
G会場 国際交流・国際比較	25-G-01 日本人との交流が在日中国人の意識に及ぼす影響 ○王晓明(岩手大学大学院連合農学研究科)	25-G-02 環境問題についての意識と行動に関する比較研究ー広島大学・復旦大学・マラヤ大学の学生に対するアンケート調査をもとにー ○土井美枝子(広島大学大学院社会科学部研究科博士課程後期生)	25-G-03 日本、英国、タイ、中国、米国の高等教育における環境人材の活用の場の比較 ○太田絵里(財団法人地球環境戦略研究機関)・高橋正弘(大正大学)・森下研(財団法人地球環境戦略研究機関)	25-G-04 動物園間協力を通じたマダガスカル環境教育支援 ○斉藤千映美(宮城教育大学環境教育実践研究センター)・田中ちひろ(仙台市八木山動物公園)
H会場 思想・文化	25-H-01 環境倫理における「自然の内在的価値」についてー実践上の妥当的枠組みをめぐってー ○渡辺りわ(甲南大学大学院人文科学研究科)	25-H-02 農山村の祭礼文化におけるESDの役割 ○山本恵(東京農工大学大学院)	25-H-03 環境理解と「哲学する心」～「世界と私」への哲学的問いの必要性～ ○榊井靖之(京都大学経営管理大学院京セラ経営哲学寄附講座)	

【口頭発表】7月25日(土) 10:35~11:55

	10:35	10:50	11:05	11:20
A会場 小学校実践	25-A-05 環境のための地球学習観測プログラム(GLOBE)活動を通じた児童・生徒の学び—感想文およびアンケートから見えてきたこと— ○島絵里子・深須祐子・吉富友恭(東京学芸大学環境教育実践施設内グローブ日本中央センター事務局)	25-A-06 環境教育における評価の問題—水文化教育の構想と実践(その8)— ○立花禎唯(高槻市立大冠小学校)	25-A-07 地域の人々との連携による環境学習2—「生物多様性は生命の織物」の実践を通して— ○牧宏(名古屋市立日比津小学校) 三環(みかん)の会(なごや環境塾三期生の会)	25-A-08 ESD(持続可能な開発のための教育)に関する研究VI サンショウウオの野外観察 ○飯塚光司(新宿区立四谷中学校)・小石裕之(法政大学第二中学校)・白岩悠大(岩倉高等学校)
B会場 学校教育	25-B-05 プロジェクト・ワイルドにおける幼児体験プログラム ○羽生一予(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻)	25-B-06 環境教育プログラムを活用した親子学習 ○富田俊幸(取手市立稲小学校)	25-B-07 森林教室の感想文から考察した環境教育の実践方法について ○沖義裕(森林管理署)	25-B-08 児童期の栽培体験が成長後の環境に対する意識に与える影響—大学生を対象とした質問紙調査から— ○千葉啓広(名古屋大学大学院環境学研究科)・木島温夫(滋賀大学教育学部)
C会場 大学生・指導者	25-C-05 大学のビオトープにおける地域住民の学習活動と課題 ○井元りえ(福岡工業大学社会環境学部)	25-C-06 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」が育成を目指す人材と特徴的な手法 ○高橋一秋・高橋大輔・三上光一・外崎健・佐藤哲(長野大学環境ツーリズム学部・教育GP「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」)	25-C-07 環境と人間の歴史を考えるジオツアー—環境教育への応用 北九州市間島の例— ○野井英明(北九州市立大学)・太田泰弘(北九州市立自然史・歴史博物館)・梅崎恵司(北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室)	25-C-08 金沢大学における学生里山サークルと里山リテラシー・プロジェクト ○佐川哲也(金沢大学)
D会場 農業・漁業体験	25-D-05 多摩丘陵の農場予定地で農学部学生が考えたことについて ○倉本宣(明治大学農学部)・荻澤和也(明治大学大学院農学研究科)	25-D-06 自然エネルギーによる農作物生産と市場流通に関する地域教育—太陽光発電と水耕栽培— ○吉井那緒(広島商船高等専門学校産業システム工学専攻科)・岐美宗(広島商船高等専門学校)・安本欣司(Citrus & Hydroponics Tomato)・土居龍二(CAFE HOXTON)	25-D-07 弓削島の環境活動と連携した環境教育の取り組み ○伊藤武志・藤井清治・浜中俊一・益崎真治(弓削商船高等専門学校)	
E会場 野外活動	25-E-05 自然への回帰:キャンプが環境リテラシーに及ぼす効果とその要因 ○岡村泰斗・岡田成弘(筑波大学)	25-E-06 野外活動を重視した環境教育実践 ○福田直(東京学芸大学)	25-E-07 現代環境教育学における環境教育指導者のSLEに関する研究 ○温山陽介(東京農工大学大学院)	25-E-08 組織キャンプが参加者の環境リテラシーに及ぼす効果と要因の関連 ○岡田成弘(筑波大学大学院)・岡村泰斗(筑波大学)
F会場 指導者養成	25-F-05 環境教育人材育成事業の課題と可能性 ○川嶋直(立教大学ESD研究センター・キープ協会)・小林毅(岐阜県立森林文化アカデミー)	25-F-06 千葉県エコマイนด์指導者養成講座の教育効果評価 ○小川かほる(千葉県環境研究センター)・上原和宗・西崎泰(千葉工大)	25-F-07 自然ふれあい施設の行政評価のあり方を考えるパートIV ○小林毅(岐阜県立森林文化アカデミー)	25-F-08 英国の高等教育における環境人材育成の状況について—大学院における取り組みを事例として— ○早川有香・太田絵里(財団法人地球環境戦略研究機関)
G会場 国際比較	25-G-05 パリの市民農園と環境教育 ○堀和弘(近畿大学豊岡短期大学)	25-G-06 中国・広州市中学校における緑色学校建設の現状 ○陸敬東(立命館大学社会学研究科)	25-G-07 生活に根ざした環境教育とエコ・フェミニズム視点~ネパール・プロジェクトを一事例として~ ○シュレスタ・マニタ、松葉口玲子(横浜国立大学)	25-G-08 ドイツにおけるエネルギー環境教育教材に関する研究—MSEの分析から— ○若林身歌(山形大学教職研究総合センター)
H会場 地域文化	25-H-05 奄美女性のESDの歴史的研究—米軍政下の「祖国復帰運動」における女性運動の展開— ○南郷展(東京農工大学)	25-H-06 地域再編成にむけた生活体験学習の可能性—地域文化伝承の視点から— ○手島育(東京農工大学)	25-H-07 へき地教育における環境教育の優位性について ○遠藤晃(佐賀大学農学部)	25-H-08 再処理工場保有に向けた人々の動き—青森県六ヶ所村における高校進学率の問題を通じて— ○小山田和代(一橋大学大学院)

【口頭発表】7月25日(土) 12:10~13:50

	12:10	12:25	12:40	12:55	13:10
A会場 中学校実践	25-A-09 中学二年生全 員実施の森の健康診断 ○小西伴尚(三重中学校・ 矢作川森の研究者グル ープ)・井上徳也(日本教育 大学院大学)・山田陽一 郎・比企延之(三重中 学校)・川端宏美(三重高 等学校)	25-A-10 ESD に向けて～ 中学校での環境教育実践 から考える～ ○小石裕之(法政大学第 二中学校)・中里直(板橋 区立中台中学校)・飯塚 光司(新宿区立四谷中 学校)	25-A-11 教科横断カ リキュラムによる環 境教育の推進 ○岡田正三(愛知教育 大学院)	25-A-12 小学校社 会科学習における 子どもたちの環境 観の育成～産業学 習を通して～ ○中河 伸弥(愛知 県宝飯郡小坂井町 立小坂井西小学校)	25-A-13 無意識を意 識する、私「が」で きることを探し エコ学 習その後 ○岩松洋・高月紘(京 エコロジーセンター)
B会場 大学生・ 指導者	25-B-09 小学生の環境 保護行動と環境倫理観 ○菅井英子・仲真紀子 (北海道大学大学院)	25-B-10 海岸環境保全の ための新しい環境教育プ ログラム「この先、海で す。プロジェクト」 ○藤田喜久(琉大・大学教育 センター・海の自然史研究 所)・今宮則子(海の自然史 研究所)・平井和也(海の自 然史研究所)	25-B-11 自然科学系 博物館の資源を活 用した科学的体験学 習プログラムの開発と 提案 ○岩崎誠司(国立科学 博物館)	25-B-12 「工業高校 における地球温暖 化防止教育」 ○飯尾美行(静岡県 立浜松城北工業高 等学校)	
C会場 大学生・ 指導者	25-C-09 環境教育にお ける体験の意義を考 えるー 東海大学教養学 部人間環境学科「環 境保全演習」の実 践からー ○岩本泰(東海大学教 養学部人間環境学 科専任講師)・小澤 紀美子・藤野裕弘 (東海大学大学院 人間環境学研究科)	25-C-10 専修学校にお けるESD教育実践 ○田辺慎一(国際自然 環境アウトドア専 門学校)	25-C-11 ELF環境学 習過程(モジュール 教材)とその活用 ○木俣美樹男(東京学 芸大学環境教育実 践施設)・井村礼 恵(植物と人々の博 物館)・黒澤友彦 (自然文化誌研究 会)・西村俊(北陸 先端技術大学)・菱 井優介(トムソーヤ クラブ)	25-C-12 市民参画 による環境保全活 動の試み～コモン ズ論の立場から～ ○天野雅夫(甲南大 学研究生)	25-C-13 大学等教 育研究機関の環境 負荷とその削減に 向けた取り組み ○酒井伸一・浅利美 鈴・藤本成彬(京 都大学環境保全セ ンター)
D会場 生物多 様性	25-D-09 生物多 様性保全と里山保 全 ○岩田好宏	25-D-10 動物園にお ける環境教育～動 物愛護と野生生物 保全をつなぐ場と して～ ○高橋宏之(千葉 市動物公園)	25-D-11 生物多 様性の保全とESD ー小笠原諸島の固 有種・移入種をめぐ ってー ○生方秀紀(北海 道教育大学釧路校)	25-D-12 滋賀県・ 田上地域における 環境学習プログラ ムの開発と実践 ○安部尚子(滋賀 大学大学院教育学 研究科研究生)	25-D-13 大学周 辺の植物観察を通 しての生物多様性 問題の認識・動機 付け ○本田数博(神奈 川工科大学応用化 学科)
E会場 生涯教育・ 施設	25-E-09 大学と社 会教育施設との連 携による環境学習 プログラムの実施ー 社会教育における 学習評価の充実を 目指してー ○岡本弥彦(麻布 大学)・佐藤亮(東 京ガスカントリー ライフ株)	25-E-10 環境学 習施設における職 場体験研修の可 能性～関わりの中 から学び合う環境 意識～ ○谷内口友寛・高 月紘(京エコロ ジーセンター)	25-E-11 地域資 源としての人材育 成と大学の役割 ○花田真理子(大 阪産業大学)	25-E-12 キープ 協会における環境 意識向上のための 実践的試み ○小野麗佳(元財 団法人キープ協会 ・フリースランス) ・饗場葉留果(財 団法人キープ協 会)・中山孝志(元 財団法人キープ協 会・フリースランス)	25-E-13 ナショ ナルトラスト活動 における主体形成 と学習サイクル ○淀野順子(拓殖 大学北海道短期 大学)
F会場 雇用・地 域経営	25-F-09 高知県 「いの町」の環境 保全活動 ○関上哲(富士見 丘学園)	25-F-10 農山村 地域における雇 用創出による地 域づくりの可能性 ～別海町を事例 として～ ○須賀貴子(東京 農工大学院)	25-F-11 自然学 校再考ー自然と 生活の回路を結 ぶ ○小栗有子(鹿児 島大学)	25-F-12 協同組 合による地域づ くりの可能性～ ブラジルを事例 に～ ○酒井佑輔(東京 農工大学)	
G会場 日・中・ 韓国際比 較・協力	25-G-09 日中韓 環境教育ユース・ プログラム(TEEPY) の開発とそのプ ログラム評価ー 自由連想法に基 づく環境・食意 識の変化とESD の10の視点に 基づいてー ○佐藤真久(東京 都市大学)・李在 永(大韓民国公 州大学)・田青 (北京師範大 学環境教育中 心)	25-G-10 中国・ 内モンゴルにお ける環境教育の 展開と課題ー日 本との比較を 中心にー 花爾(上越教育 大学院)・藤岡達 也(上越教育大 学)	25-G-11 独立教 科「環境」のあり 方: 実質的な 間学問的接近 ○李在永(韓国 公州大学)・元 鍾彬(東京農工 大学院)・韓国 環境教育研究 所)	25-G-12 中等 学校の環境科の あり方と環境教 師の任用問題 ○郭正暖(韓国 環境教育研究 所)	25-G-13 環境 授業の行動分析 ○Jae-jung Ahn (Myeong-moon High school)・ Don-Hyung Choi (Korea National University of Education)
H会場 その他	25-H-09 人権 教育との比較に よる新学力観か ら見た環境教育 ○東照晃(大阪 府立貝塚高等 学校)	25-H-10 環境 運動と環境教育 についてー川 辺川ダム問題 における環境運 動を事例にー ○楠野晋一(東京 農工大学院)	25-H-11 ドイツ のESD関連プ ログラムとESD 評価枠組みの 構築に向けた議 論の現状と課題 ○金戸哲・佐藤 真久・小堀洋美 (東京都市大 学大学院環境 情報学研究 科)	25-H-12 ESD の前提としての 「生活の安全保 障」と「新教育 運動」への着目 の今日的意義 ○松葉口玲子 (横浜国立大 学教育人間科 学部)	

【口頭発表】7月26(日) 13:00~14:20

	13:00	13:15	13:30	13:45
A会場 小学生・中学生	26-A-01 クルマ社会の弊害と環境教育 —小学校での実践例を中心に— ○前田善弘(福岡市立博多工業高等学校)・堀内重人(NPO 法人・環境市民)	26-A-02 子どもの自然体験を対象とする生活記録研究の可能性 ○木村学(國學院大學幼児教育専門学校兼任講師)	26-A-03 身近な林にすむ動物の教材化 ○竹内和俊(長野県塩尻市立宗賀小学校)	26-A-04 東京の公立小中学校における環境教育実践状況 ○棚橋乾(東京都小中学校環境教育研究会・多摩市立南鶴牧小学校長)
B会場 環境教育政策	26-B-01 日本におけるESD運動の生成と展開:その政治性に関する一考察 ○野村康(名古屋大学)	26-B-02 環境教育研究における「教育と福祉」の視点 ○古里貴士(名古屋大学大学院研究生)	26-B-03 歴史認識に基づく環境教育の持続可能な社会への貢献 ○坂井宏光(九州国際大学大学院企業政策研究科)	26-B-04 内発的発展を反映したESD評価手法構築へ向けた一考察—国際的議論に基づくESD概念比較と地域実践現況調査からの示唆— ○永宮祐司・佐藤真久・小堀洋美(武蔵工業大学大学院環境情報学研究科)
C会場 自然科学	26-C-01 pH測定で行う「地球環境シュミレーション実験」のプログラム ○原宏(東京農工大)・平野謙二(松江教育センター)・佐藤敬一(東京農工大)	26-C-02 相模湾沿岸におけるアカウミガメ産卵巣の環境教育資源化をめぐる課題と展望 ○矢ヶ崎朋樹(IGES-国際生態学センター)・倉持卓司(相模貝類研究談話会)・小谷野有加(新江ノ島水族館)・倉持敦子(海洋生態学研究センター)・北嶋円(新江ノ島水族館)	26-C-03 秋田県における森林体験イベントの現状と参加者の意図の解析 品川朋仁・○蒔田明史(秋田県立大・生物資源)	26-C-04 空中写真による田んぼの経年変化に関する環境学習の実践—環境ボランティアと研究者による環境保全活動より— ○真田誠至・萱場祐一(独立行政法人土木研究所自然共生研究センター)・根岸淳二郎(北海道大学)・三輪芳明・塚原幸治(岐阜・美濃生態系研究会)
D会場 エコリズム	26-D-01 持続可能な観光を目指す地域づくりにおけるESDの可能性 ○大島順子(琉球大学観光産業科学部)	26-D-02 修学旅行におけるエコリズム ○堀内重人(NPO 法人環境市民)	26-D-03 エコツーリズムによる地域づくりの可能性 ○櫃本真美代(立教大学ESD研究センター)・萩原豪(鹿児島大学)・朝岡幸彦(東京農工大学)・楊恵淳(台湾産業界サービス基金会)・降旗信一(東京農工大学)	26-D-04 国際エコリズム協会(TIES)の連携組織が提唱するエコリズムの定義に内在する用語の相互関連性 ○小泉真吾・佐藤真久・小堀洋美(武蔵工業大学大学院環境情報学研究科)
E会場 高校生	26-E-01 高校理科総合における屋内型環境アクティビティの利用と生徒の意識変容について ○布施達治(北海道北見北斗高等学校)	26-E-02 みちのくEMS取得を目指した環境教育の実践 江成敬次郎(東北工業大学)・○富村芽久美(東北工業大学大学院・宮城県黒川高等学校教諭)	26-E-03 生物実験を通して高校生が科学リテラシーを身につけるために—シヨウジョウバエ遺伝実験の言動から— ○中川昌子 高石哲男(千葉県立東葛飾高校)	26-E-04 千葉県銚子地域の風力発電を利用した環境教育プログラムの実践 ○安藤生大(千葉科学大学)
F会場 里山保全	26-F-01 地域の緑の保全に向けて ○松山正将・菊地清文・佐伯吉勝(東北工業大学工学部)・中居尚彦(同ライフデザイン学部)・阿部和正(㈱秋元技術コンサルタント)・平吹喜彦(東北学院大学地域構想学科)	26-F-02 「菜の花・バイオマスプロジェクト会議奈良」の理念と活動状況:新たな展開 ○岩本廣美(奈良教育大学)・谷口暁(奈良ネイチャーネット)	26-F-03 持続可能な里山保全における環境教育の役割 ○孟蘭(東京農工大学大学院)	26-F-04 ビオトープの利用と周辺環境の影響について ○木村美智子(茨城大学)
G会場 食と農	26-G-01 「食環境」を軸にした環境教育体系化の試み ○鈴木善次(元大阪教育大学)	26-G-02 農業体験を介した中学生の環境意識の涵養と心理的变化 ○阿部有子(文教大学大学院教育学研究科)	26-G-03 クラインガルテン(市民菜園)と地域環境教育—ドイツ・カールスルーエ市を事例に— ○松田雅央(在独環境ジャーナリスト)	26-G-04 共働き家庭の子どもたちへの食育のあり方 ○蒲生孝治(京都女子大学)・吉村佑希(京田辺市立田辺小学校)
H会場 海外に学ぶ	26-H-01 ドイツにおけるESDコーディネーターの育成と展開—「マルチプリケーター」研修プログラムによる学校ESDの拡大と国際教育イニシアティブへの接続の取り組み— ○高雄綾子(フェリス女学院大学国際交流学部)	26-H-02 モンゴル研修を終えて ○高橋正昭(四日市大学)	26-H-03 オレゴン州におけるESD実践の課題—ポートランド州立大学における取り組みを中心として— ○田部俊充(日本女子大学)・永田成文(三重大学)・佐藤真久(東京都市大学)	26-H-04 イエローストーン国立公園の森林火災 ○君島俊克(佼成学園中学・高等学校)

【口頭発表】 7月26(日) 14:35~15:55

	14:35	14:50	15:05	15:20
A会場 ライフスタイル	26-A-05 アメリカ合衆国における環境リテラシー育成の理論と実践 ○宮崎沙織 (筑波大学大学院)	26-A-06 高度技術社会のリスク管理に向けたライフサイクル思考に基づく環境教育 ○本藤祐樹 (横浜国立大学)	26-A-07 「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)」における環境教育の役割と実践 ○吉川まみ (川崎市環境局・環境技術情報センター)	
B会場 環境教育思想	26-B-05 英国都市環境教育運動の思想的基盤 ○三谷高史 (日本学術振興会特別研究員・一橋大学大学院)・安藤聡彦 (埼玉大学)	26-B-06 今の私の環境教育の問題地平 ○原子栄一郎 (東京学芸大学環境教育実践施設)	26-B-07 体験後学習とナラティブ ○新田和宏 (近畿大学)	26-B-08 現代環境教育学の可能性と課題-20周年記念特集号研究会の総括にむけて- ○降旗信一 (東京農工大学非常勤)
C会場 自然科学	26-C-05 地球温暖化の動向から(第4弾)~科学技術をいかした低炭素社会を目指す~ ○熊澤峻子 (日本環境教育学会)・熊澤貴子 (WWFJ)	26-C-06 海の科学教育プログラム M.A.R.E.を活用した海洋リテラシー育成展開 ○平井和也・藤田喜久・今宮則子 (NPO 法人海の自然史研究所)	26-C-07 宮城県の農業農村整備事業での生き物調査について ○小山純 (宮城県東部地方振興事務所)	
D会場 地域づくり	26-D-05 地域づくりにおける環境教育の担い手としてのNPOに関する研究 ○塚島幸太 (東京農工大学大学院)	26-D-06 パートナーシップ活動から生まれたエコカレッジ ○菊沢正裕 (福井県立大学)	26-D-07 自然体験学習に関する教員の力量形成の課題ー北海道厚岸郡浜中町における自然体験学習事業の事例分析ー ○小玉敏也 (入間市立藤沢南小学校)	26-D-08 環境教育民間事業所の経営と市場 ○中澤朋代 (松本大学)
E会場 環境的行動・企業	26-E-05 環境情報への接触が2R行動に及ぼす影響ー大学生のレジ袋削減行動を中心としてー ○山川肇・瓜野友子 (京都府立大学)・浅利美鈴・酒井伸一 (京都大学)	26-E-06 3Rリーダー活動に対する意識とその活動支援プログラム ○浅利美鈴・酒井伸一 (京都大学環境保全センター)・山川肇 (京都府立大学)	26-E-07 企業において社員が環境配慮行動を促進する要因に関する研究 ○甲野毅 (東京農工大学大学院連合農学研究所)・小澤紀美子 (東海大学)	26-E-08 日本の大学におけるCSR(企業社会責任)教育の実施状況に関する研究 ○九里徳泰 (富山県立大学)
F会場 自然体験	26-F-05 自然を介した時間との交流ー環境教育の新たな展開ー ○東方沙由理・穴見慎一 (東京農工大学大学院博士課程)	26-F-06 野外教育活動における環境体験 ○田中浩之・佐島群巳 (帝京短期大学こども教育学科)	26-F-07 学校登山の課題と山の環境学習の提案 ○渡辺隆一 (信州大学教育学部)	26-F-08 自然体験学習の課題-「environmentalな教育」の観点から ○野田恵 (東京農工大学大学院)
G会場 科学教育	26-G-05 ESDで重視する態度・能力に関する一考察 ○五島政一 (国立教育政策研究所)・岡本弥彦 (麻布大学)・佐藤真久 (東京都市大学)	26-G-06 外国語学部におけるサイエンスコミュニケーターの養成 ○畑田彩 (京都外国語大学)	26-G-07 人間性を失った科学からの帰還ースキルから智慧へ、新しい理科教育の提案ー ○三田秀雄 (東京都武蔵野市立第一中学校)	26-G-08 S T S (科学・技術・社会)教育の実践や成果をESDにどう生かすか ○内田隆 (埼玉県立浦和第一女子高等学校)
H会場 生活・エネルギー	26-H-05 環境教育の視点を取り入れた小学校家庭科の授業実践 ○小清水貴子・藤本登 (長崎大学教育学部)	26-H-06 環境教育へのライフサイクル思考の導入と実践 ○水野建樹・津田祥子 ((社)未踏科学技術協会)・伊坪徳宏 (東京都市大学)	26-H-07 ライフサイクル思考を取り入れたグリーン購入の教材開発と実践 ○高岡由紀子 (グリーン購入ネットワーク事務局)	26-H-08 教科学習における「エネルギー環境教育」の実証的研究(その4) 石原淳 (板橋区立中台小学校)・井元りえ (福岡工業大学)・大磯眞一 (INSS 社会システム研究所)・佐島群巳 (帝京短期大学)・鈴木真 (練馬区立中村西小学校)・妹尾理子 (香川大学)・高山博之 (京都教育大学(名))・中村俊哉 (川崎市立虹ヶ丘小学校)・野口芳江 (さいたま市立上落合小学校)・橋場隆 (INSS 社会システム研究所)・前田浩平 (静岡大学大学院)・山下宏文 (京都教育大学)

【ポスター発表】 7月25日(土) 10:30~15:00

- ポスター 01 環境教育の観点からみた園内研究事業の実態
○井上美智子 (大阪大谷大学)
- ポスター 02 アジア・アフリカの学校との連携による自然環境教育
○喜多雅一 (岡山大学大学院教育学研究科)
- ポスター 03 女子短大における環境教育の一環としての水質分析実験の試み
○阿部俊一 (名古屋短期大学現代教養学科)
- ポスター 04 大学生の森林体験学習における教育的効果
○小田淳子・宮川雅充・井勝久喜・村本茂樹 (吉備国際大学国際環境経営学部)
- ポスター 05 土壌動物の教材化～土の中の生きものを使った環境学習プログラムの実践～
○湯本勝洋 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)
- ポスター 06 小学校における富栄養化を素材とした環境学習-3年間の積み上げ学習プログラムの提案 -
○筒井郁子 (滋賀県立水環境科学館)・中村大輔・澤節生・明田孝之・吉岡春奈 (草津市立笠縫東小学校)・川嶋宗継 (滋賀大学教育学部)
- ポスター 07 琵琶湖底の低酸素化のしくみを科学的に学ぶ教材・学習プログラム
○宮嶋克幸 (滋賀県総合教育センター)・幸美砂子 (大津市立瀬田北中学校)・中村公一 (大津市立瀬田北中学校)・太田聡 (守山市立明富中学校)・池下克美 (滋賀県立膳所高等学校)・川嶋宗継 (滋賀大学教育学部)
- ポスター 08 新横浜公園をフィールドとした環境教育の実践-第2報
阿部道生・杵渕恵那・阿部竜一・飯高生子・井上亜美・諏訪靖乃・宮本永浩・石川匠・川島麻美・木村麻理華・坂水愛理・櫻井章人・佐々木史江 (鶴見大学)・清水富二男 (日産スタジオ)・片山篤史 (グリーンタフ)
- ポスター 09 里山を生かした学習活動の工夫
○太田俊彦 (筑西市立関城西小学校)
- ポスター 10 保育者養成校の学生の幼少期における自然体験-身近な動物とのかかわりについて-
○石井智子 (東京都市大学)
- ポスター 11 環境教育におけるヒール (Heel) とベビーフェイス (babyface) は“糾える縄の如し”となりうるか?
○村松陸雄 (武蔵野大学)
- ポスター 12 白鳥の高病原性鳥インフルエンザ感染が及ぼした影響について
○小泉伸夫 (農研機構動物衛生研究所)
- ポスター 13 「びわ湖体験学習プログラム」の充実に関する実践的研究
○上山香織・遠藤修一・川嶋宗継 (滋賀大学大学院・環境教育専修)
- ポスター 14 小学生用環境家計簿の作成と評価
○熊谷哲・古橋和樹・宇都宮舞・中元由香里・吉田早知恵・宮本嘉乃・林紗恵子・松永裕未・百田直矢・藤原萌子 (兵庫県立大学環境人間学部)
- ポスター 15 スポーツ競技者の果たす社会的責任-環境保全活動におけるテニス競技者のチェンジ・エージェント機能、同質性獲得方法、コミュニケーション手法に焦点を置いて-
○吉田友佳 (東京都市大学環境情報学部・日本テニス協会環境委員会)・佐藤真久 (東京都市大学環境情報学部)
- ポスター 16 環境教育分野の JOCV 活動報告書の文章分析に基づくシミュレーション教材の開発
○近藤裕美・柳井直人・清水恵子・瀬戸友貴・吉田友佳・金岡麻衣・菊地慶子・小野洋平・阿部雄太・田中良和 (東京都市大学環境情報学部)・金戸哲・永宮祐司・小泉真吾 (東京都市大学大学院環境情報学研究科)・佐藤真久 (東京都市大学環境情報学部)

- ポスター 17 **ワットサマエダム・スクール（バンコク、タイ）における酸性雨普及啓発プログラムの実施と参加学生の酸性雨に関する認識の変化ー**
○金岡麻衣・佐藤真久（東京都市大学環境情報学部）・山下研（酸性雨研究センター）・川嶋宗継（滋賀大学教育学部）
- ポスター 18 **環境学習プログラムにおける定量的評価システムの高度化に関する研究**
○塩田真吾・山内崇裕・金子幸平・小野田弘士・永田勝也（早稲田大学）・和田翔太（NPO 早稲田環境教育推進機構）
- ポスター 19 **東京都立つばさ総合高校の環境への取り組み**
○荘司孝志（東京都立つばさ総合高等学校）
- ポスター 20 **学校を中心とした地域開発とバイオリージョンー日中韓環境教育ユース・プログラム（TEEPY）への参加を通してー**
○清水恵子（東京都市大学）・金戸哲（東京都市大学大学院）・臼杵裕之（東京大学大学院）・住田隆（関西学院大学）・西村みほろ（フェリス学院大学）・名原道子（北海道教育大学）・田儀耕司（日本環境教育フォーラム）・佐藤真久（東京都市大学）
- ポスター 21 **樹木園におけるフィールド展示と解説ー多摩森林科学園における事例からー**
○大石康彦・井上真理子・岩本宏二郎（森林総合研究所多摩森林科学園）
- ポスター 22 **牛乳パックをリユースしたエコバッグのデザインと商店街での実践**
○近藤祐一郎（東北工業大学）・亀崎英治・玉上智江美（仙台市立北六番丁小学校）
- ポスター 23 **身近にある人工化学物質の現状ー衣料用合成洗剤のヒメダカへの影響を中心にー**
○佐久間史明（東海大学大学院人間環境学研究院院生）・藤野裕弘（東海大学大学院人間環境学研究科教授）
- ポスター 24 **高等学校における森林体験活動の教育課程上の位置づけ**
○井上真理子・大石康彦（森林総合研究所多摩森林科学園）
- ポスター 25 **栄養士養成課程における食農教育の可能性（2）**
○諸岡直（佐賀女子短期大学）
- ポスター 26 **新学習指導要領に基づく環境教育学習事項の整理～発達の段階別マトリクス作成～**
○大西亮真・川村研治・竹澤ゆみ代・山下厚志（財団法人日本環境協会）
- ポスター 27 **大学の講義における環境家計簿の実施方法について**
○三谷直子（徳島大学工学部）・上月康則・山中亮一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部）
- ポスター 28 **工学系大学における環境リテラシー教育の試み**
○楠井隆史（富山県立大学工学部）
- ポスター 29 **保育者をめざす学生の自然体験に関する意識と「理想の園」にみられる環境について**
○桂木奈巳（宇都宮短期大学）
- ポスター 30 **トランクミュージアムの活用ー瀬戸内海におけるケーススタディー**
○遠部慎（北海道大学）・五十嵐聡江・小野寿美子（葛飾区郷土と天文の博物館）
- ポスター 31 **環境シミュレーション技術に関する実践的教育プログラムの開発**
○石田武志（日本工業大学工学部ものづくり環境学科）
- ポスター 32 **水草による河川の浄化の教材研究と授業実践**
山下さくら（大阪市立加美小学校教諭）・○八木俊太（岡山大学教育学部）・喜多雅一（岡山大学大学院教育研究科）
- ポスター 33 **高等学校選択講座「人間と環境」の実践**
○塩瀬治（自由の森学園中学校・高等学校）・鈴木哲也（秀明大学）
- ポスター 34 **教諭からの要望に対応した環境教育用森林映像教材の開発と実践**
○中村和彦・斎藤馨・浜泰一（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

- ポスター 35 燃料電池の教材化が教育界に及ぼした影響
○小林輝明（新宿区立新宿中学校）
- ポスター 36 Web2.0 を用いた大学保全林における参加型環境教育プログラムの開発
○奥間亮・小堀洋美・野村迅史・中村雅子・上野直樹（東京都市大学大学院）
- ポスター 37 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」の評価システム
○外崎健・高橋一秋・三上光一・高橋大輔・佐藤哲（長野大学環境ツーリズム学部・教育 GP「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」）
- ポスター 38 大野 ESD 自然学校ー森林環境教育から持続可能な地域作りへの取り組みー
○井倉洋二（鹿児島大学）
- ポスター 39 「環境保全活動・環境教育推進法」の改正を考える
○林浩二（千葉県立中央博物館）

【自主課題研究】 7月26日(日) 16:00~18:00

- 自主課題研究01 「環境」の科目化についての日韓の対話
代表：諏訪哲郎（学習院大学）
- 自主課題研究02 学校における環境教育実践交流会（その3）
代表：本庄眞（奈良県明日香小学校）
- 自主課題研究03 「関さんの森」の道路問題にみる運動と活動と一体化した大人の学びについて
代表：川北裕之（関さんの森を育む会・千葉県立市川工業高校）
- 自主課題研究04 生物多様性条約 COP10 で何を知り何を環境教育に活かすべきか
代表：長野義春（越前市エコビレッジ交流センター）
- 自主課題研究05 学校教育における森林環境教育プログラム
代表：佐藤敬一（東京農工大学農学部）
- 自主課題研究06 仮説を立てて環境教育を実践する考え方(仮説環境教育)の提案
代表：小林毅（岐阜県立森林文化アカデミー）
- 自主課題研究07 今、子どもにとっての環境教育とは？
代表：大澤力（東京家政大学）
- 自主課題研究08 環境教育における食育と生活体験学習の意義と課題
代表：野村卓（食育・生活体験学習研究会・鹿児島大学）
- 自主課題研究09 国公立大学における環境教育のフロンティア4-大綱化・法人化・大学改革の潮流の下で-
代表：内山弘美（三重大学生物資源学研究科）
- 自主課題研究10 ESD 研究にかかる解釈学的アプローチの可能性と課題
代表：藤公晴（青森大学大学院環境科学研究科・State University of New York College of Environmental Science and Forestry）